

# 雲仙岳登山道防災マップの見直しについて

# 1 雲仙岳登山道防災マップの見直しについて

登山者、登山計画者及び観光客に対して、雲仙岳が活火山であること、雲仙岳登山道周辺における危険箇所等や突発的噴火時の注意点などを広報し、注意喚起を促すため、雲仙岳登山道山頂近辺の緊急避難場所等を取りまとめた「雲仙岳登山道防災マップ（以下、マップという）」を平成29年度に作成した。

その後、令和3年12月に噴火警戒レベルのキーワードが変更されたことを受け、マップの見直しを行うため専門部会や幹事会で検討を行った。

マップの見直しにあたっては、噴火警戒レベル2及び3が発表された場合に立入規制となる登山道等の区域をより分かりやすく表現することとした。

## 2 雲仙岳登山道防災マップの見直し事項

### (1) 噴火警戒レベルのキーワード変更に伴うの文言修正

令和3年12月16日から噴火警戒レベル4のキーワードが「避難準備」から「高齢者等避難」へ変更となったため、マップの表記も修正する。

### (2) 噴火シナリオの変更に伴う、平成新山想定火口域の追加及び警戒レベルに応じた同心円の位置の修正

マップ作成以降に噴火シナリオを見直しており、そこで想定火口域が改めて示されたためマップへ追記する。

また、噴火警戒レベル2及び3が発表された場合の範囲（同心円）について正しい位置へ修正を行う。

### **(3) 噴火警戒レベル 2 及び 3 が発表された場合の登山道及び道路等の立入規制区域の明示**

現行のマップでは、噴火警戒レベル 2 及び 3 が発表された場合にどこが立入規制区域であるかをマップで確認できなかった。

そこで、噴火警戒レベル 2 及び 3 が発表された場合に、登山者や観光客などが火口周辺などの危険な区域に立ち入らない又は、速やかに危険な区域の外へ立退き避難できるように、マップ上に立入規制区域を明示することとした。

### **(4) その他の修正**

- ・ 凡例の修正
- ・ 関係機関の名称の修正
- ・ QRコードの修正

## 3 印刷・配布等について

### (1)印刷

マップの修正業務の中で500部印刷予定  
来年度にも印刷発注予定

### (2)配布先

- ・ 雲仙ロープウェイ駅
- ・ 仁田峠インフォメーションセンター
- ・ その他必要と認められる施設等

### (3)その他

スマートフォンでマップをダウンロードできるようにQRコードを作成し、各施設や登山道に設置されている看板等に貼付を検討予定である。